

消化器内科後期研修医募集

済生会川口総合病院 消化器内科では、初期研修後の消化器内科後期研修を希望する医師を募集しています。

当科の特徴を挙げますと

- ・院長、副院長とも消化器内科医です。院長以外の10名(常勤医8名、後期研修医2名)で消化器疾患全般の診療を行っています。
- ・消化器 common disease～稀な疾患、重症疾患(劇症肝炎、重症膵炎など)など幅広く豊富な症例を経験できます。
- ・当科は24時間緊急内視鏡が可能な体制をとっており、消化管出血などの消化器救急症例も多く経験できます。
- ・東京近郊に位置するため、学会、研究会、セミナーなどの出席にも便利です。
- ・日本内科学会、日本消化器病学会、日本消化器内視鏡学会、日本肝臓学会の認定施設あるいは指導施設であり、それぞれの専門医資格の取得が可能です。それぞれの学会の専門医、指導医が在籍しています。
- ・外科、放射線科(放射治療も含む)、病理科、腫瘍内科など消化器内科と関連が深い科との関係が非常に良好であり、相談や患者紹介が円滑です。病理科とは内視鏡・病理検討会を行い、腫瘍内科医、放射線治療医は当科検討会に参加しています。
- ・平成16年に新築した新しい病院であり、消化器関連の検査・治療機器は最新のものをそろえています。CT 2台、MRI 3台、血管造影装置2台を有しています。
- ・平成27年6月に新館が完成し、新しい医局、新健診センターが入りました。これに伴い本館の内視鏡センター、化学療法室を拡張しました。
- ・後期研修修了後の進路についてはご希望に沿って対応します。引き続き当院の常勤医として働いていただくことも可能です。

当院消化器内科での後期研修に興味をもっていただけるようでしたら、総務課人事担当までご連絡下さい。

ぜひ1度見学にいらしてください。

副院長 消化器内科主任部長 松井 茂

診療科 消化器内科

学会認定

- 日本消化器病学会認定施設
- 日本消化器内視鏡学会指導施設
- 日本肝臓学会認定施設
- 日本内科学会認定医制度教育病院

特長

- ・常勤医8名、後期研修医2名の合計10名で、消化器疾患全般の診療を行っている。
- ・各種内視鏡治療（EMR, ESD, EIS, EVL, ENBD, EST, EPBDなど）や、慢性肝疾患～肝細胞癌の1連の治療（抗ウイルス療法, TACE, TAI, RFAなど）に力を入れている。
- ・消化器癌の化学療法を積極的に行っている。
- ・消化器病関連の学会、研究会に積極的に参加、発表を行っている。
- ・当科は日本内科学会、日本消化器病学会、日本消化器内視鏡学会、日本肝臓学会の認定施設あるいは指導施設で指導医、専門医がおり、各専門医資格の取得が可能である。

主な検査、治療件数(2015年度)

消化器内視鏡：上部消化管内視鏡検査 3365例、下部消化管内視鏡検査 1760例、内視鏡的逆行性膵胆管造影（治療を含む）165例、上部消化管ポリペク・EMR 7例、下部消化管ポリペク・EMR 512例、食道ESD 6例、胃ESD 54例、大腸ESD 15例、上部消化管内視鏡的止血術 95例、下部消化管内視鏡的止血術 26例、内視鏡的食道静脈瘤治療56例

肝細胞癌治療：カテーテル治療 53例、ラジオ波焼灼療法 10例

学会専門医・指導医

- 日本内科学会認定医/専門医/指導医 6名/3名/2名
- 日本消化器病学会専門医/指導医 5名/2名
- 日本消化器内視鏡学会専門医/指導医 5名/2名
- 日本肝臓学会専門医/指導医 4名/1名
- 日本消化管学会・胃腸科専門医/指導医 1名/1名
- 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 4名